

(特非) 市民未来共社

里山環境再生プロジェクト

イベントの 延べ参加者数	318人
イベント参加者 の満足度	80%
活動の全体目標 に対する達成度	60%



2016年3月25日完成

◆成果と工夫したポイント

- 成果** プロジェクトが目標としている耕作放棄地の再生（農園整備など）は、面積で約70%達成した。生物相の回復には造林地の整備が課題となっている。現在、間伐、枝打ち、アクセスエルの整備中で、約20%整備した。
- 工夫** 里山が維持されるためには、環境体験の機会を豊富化すること。このための拠点形成を目指した。

課題

人が維持しなくなり、造林地の密植による土壌流出、耕作放棄地に雑草等が繁茂している。

従来生息していた生物相の多様性を回復することが課題になっている。

活動内容

里山の耕作放棄地の再生と、造林地の間伐・枝打ち等の環境整備を行いながら、有用植物の再生も行った。耕作放棄地では2ヶ所のモデル農園（次年度の環境体験基地を兼ねる）と造林地の日照や風通しをつくり森林環境を回復する活動を行いながら季節のイベントを実施し、地域社会へのつながりを増やした。



2015年6月13日
(土地利用図 N-3 の場所)

今後の課題

地域に役立つ場所になることと、里山の生態環境の回復が課題。基礎的なモデルがこれまでの2ケ年で完成したため、環境体験ができる場所をつくり、体験プログラムを開発する。